第15回
夢・未来熊谷ジュニア議会
会議録

令和２年１１月１４日　開催

熊谷市・熊谷市教育委員会・熊谷市議会

目　次

1　第15回夢・未来熊谷ジュニア議会の概要 ---------- 1

2　議事日程 ---------- 2

3　出席議員 ---------- 3

4　一般質問 ---------- 4

午 前 の 部

質問番号１　市長公室関係 ---------- 4

- 議席番号1　玉井中学校　鈴木　悠太　議員
- 議席番号3　荒川中学校　岡村　悠希　議員
- 議席番号5　吉岡中学校　西澤　こはる　議員

質問番号２　総合政策部関係 ---------- 7

- 議席番号7　中条中学校　石井　浩樹　議員
- 議席番号10　吉岡中学校　安部　慧星　議員
- 議席番号12　妻沼西中学校　内田　美空　議員
- 議席番号14　別府中学校　新堀　剛琉　議員

質問番号３　総合政策部関係 ---------- 12

- 議席番号16　奈良中学校　大澤　純大　議員
- 議席番号18　大幡中学校　戸嶋　花歩　議員
- 議席番号20　三尻中学校　久保田　真紘　議員

質問番号４　市民部関係 ---------- 15

- 議席番号21　妻沼東中学校　鈴木　陽介　議員
- 議席番号23　富士見中学校　馬場　佳帆　議員
- 議席番号25　奈良中学校　松崎　里沙　議員

質問番号５　福祉部関係 ---------- 20

- 議席番号27　大原中学校　坂本　壮吾　議員
- 議席番号29　大麻生中学校　松井　琥太郎　議員
- 議席番号31　江南中学校　藤野　蓮　議員

午後の部

質問番号６　環境部関係 ---------- 23

- 議席番号2　玉井中学校　加藤　ひな美　議員
- 議席番号4　大麻生中学校　吉際　里咲　議員
- 議席番号6　中条中学校　江森　舞　議員
- 議席番号8　妻沼東中学校　渡辺　夢楓　議員

質問番号７　産業振興部関係 ---------- 28

- 議席番号11　妻沼西中学校　小川　翔　議員
- 議席番号9　別府中学校　栗田　かのん　議員
- 議席番号13　熊谷東中学校　多田　優樹　議員
- 議席番号15　熊谷東中学校　宮澤　由依　議員

質問番号８　都市計画部・建設部関係 ---------- 32

- 議席番号17　大里中学校　杉山　美月　議員
- 議席番号19　大里中学校　石倉　優輝　議員
- 議席番号22　荒川中学校　武田　葵　議員

質問番号９　教育委員会関係 ---------- 35

- 議席番号24　江南中学校　石嶋　禮逢七　議員
- 議席番号26　大原中学校　阿久津なつの　議員
- 議席番号28　三尻中学校　白子　輝　議員
- 議席番号30　大幡中学校　磯部　真慶　議員
- 議席番号32　富士見中学校　松浦　誓也　議員

5　ジュニア議員の感想　～ジュニア議会を終えて～ ---------- 40

6　参考資料（ジュニア議員座席表） ---------- 41

7　参考資料（答弁のための出席者） ---------- 42

1　第15回夢・未来熊谷ジュニア議会の概要

夢･未来熊谷ジュニア議会は、平成18年10月に「熊谷市子ども議会」としてスタートし、第6回からは「夢・未来熊谷ジュニア議会」と名称を変更し実施しています。

第15回を迎えた令和2年度のジュニア議会は、新型コロナウイルスの影響で、例年実施しているワークショップを行うことができず、各学校で動画を視聴しての自主学習となりましたが、それぞれのジュニア議員が市政の取組について学び、考え、当日は堂々とした態度で質問を行いました。

◆議場見学と当日のシミュレーション〈令和２年８月１８日（火）〉

実際に本番が行われる議場を見学し、議会の仕組みなどを学ぶとともに、過去の質問と答弁を利用したシミュレーションや、本番での所作の確認などを行いました。

◆第15回夢・未来熊谷ジュニア議会〈令和２年１１月１４日（土）〉

熊谷市議会本会議場において、午前午後の二部制で開催しました。

三浦和一市議会議長が臨時議長を務め、午前の部は議長に久保田真紘議員、副議長に石井浩樹議員が、午後の部は議長に武田葵議員、副議長に小川翔議員がそれぞれ指名されました。

市内16中学校の2年生32人のジュニア議員が一般質問形式で一人一問の質問を行い、それに対し、市長を始め市の執行部が答弁を行いました。

当日はコロナ対策による傍聴人数の制限などがありましたが、モニターを設置した特設会場を含めて、保護者、学校関係者、熊谷市議会議員など多くの方に傍聴していただきました。

２　議事日程

令和２年１１月１４日（土）　【午前の部】　９時３０分～１２時
【午後の部】１３時３０分～１６時

１　熊谷市議会議長挨拶

２　開会　臨時議長（熊谷市議会議長）

３　熊谷市長挨拶

４　議長の選挙（指名推選）

５　副議長の選挙（指名推選）

６　一般質問

（途中議長が副議長と交代）

７　閉会（副議長）

８　講評　熊谷市議会議長
　　熊谷市長

３　出席議員名簿

＊議席番号順＊

議席番号	学校名	氏名	ふりがな	備考
1	玉 井	鈴木　悠太	すずき　ゆうた	
2	玉 井	加藤　ひな美	かとう　ひなみ	
3	荒 川	岡村　悠希	おかむら　はるき	
4	大麻生	吉際　里咲	よしぎわ　りさ	
5	吉 岡	西澤　こはる	にしざわ　こはる	
6	中 条	江森　舞	えもり　まい	
7	中 条	石井　浩樹	いしい　ひろき	AM副議長
8	妻沼東	渡辺　夢楓	わたなべ　ゆめか	
9	別 府	栗田かのん	くりた　かのん	
10	吉 岡	安部　慧星	あべ　けいせい	
11	妻沼西	小川　翔	おがわ　しょう	PM副議長
12	妻沼西	内田　美空	うちだ　みそら	
13	熊谷東	多田　優樹	ただ　ゆうき	
14	別 府	新堀　剛琉	にいぼり　たける	
15	熊谷東	宮澤　由依	みやざわ　ゆい	
16	奈 良	大澤　純大	おおさわ　じゅんだい	
17	大 里	杉山　美月	すぎやま　みづき	
18	大 幡	戸嶋　花歩	としま　かほ	
19	大 里	石倉　優輝	いしくら　ゆうき	
20	三 尻	久保田　真紘	くぼた　まひろ	AM議長
21	妻沼東	鈴木　陽介	すずき　ようすけ	
22	荒 川	武田　葵	たけだ　あおい	PM議長
23	富士見	馬場　佳帆	ばば　かほ	
24	江南	石嶋　禮逢七	いしじま　らあな	
25	奈 良	松崎　里沙	まつざき　りさ	
26	大 原	阿久津　なつの	あくつ　なつの	
27	大 原	坂本　壮吾	さかもと　そうご	
28	三 尻	白子　輝	しらこ　あきら	
29	大麻生	松井　琥太郎	まつい　こたろう	
30	大 幡	磯部　真慶	いそべ　まさよし	
31	江南	藤野　蓮	ふじの　れん	
32	富士見	松浦　誓也	まつうら　せいや	

※塗りつぶし:午後の部

質問番号 1
市長公室関係

- 議席番号1　玉井中学校　鈴木　悠太　（すずき　ゆうた）　議員
- 議席番号3　荒川中学校　岡村　悠希　（おかむら　はるき）　議員
- 議席番号5　吉岡中学校　西澤　こはる　（にしざわ　こはる）　議員

玉井中学校　鈴木　悠太　議員

市内の暑さ対策について

ここ熊谷市は、日本で一番暑い市として有名です。暑さ対策についても「暑さ対策バンク」を中心に様々な取組が行われています。

私も暑さ対策バンクを見て、暑さ対策マスター検定を受けたり、打ち水を行ったりしました。しかしこんなにもたくさん行われている暑さ対策については「暑い市」と比べるとあまり知られていないように感じています。そこで暑さ対策についてもっと知ってもらうために今後どのような取組を行っていくのか教えてください。

荒川中学校　岡村　悠希　議員

南海トラフの対策について

現在、世界各地で南海トラフ巨大地震について話し合われています。南海トラフは、九州地方から静岡県の辺りまでと広範囲に分布しています。最大マグニチュード7.1といわれており、熊谷も震度5強と予想されています。また、避難勧告が出てから、防災グッズや食料品を買い込む人も見られると思います。そこで、今後また起きるであろう地震の対策を、もっと市民に呼びかけてはどうでしょうか。また、現在取り組んでいることや、今後取り組む予定であることを教えてください。

吉岡中学校　西澤　こはる　議員

熊谷市の災害対策について

最近では地球温暖化の影響で、豪雨による自然災害が各地で起きています。熊谷市でも、昨年10月の大雨により、荒川、利根川の氾濫の危険が差し迫り、避難指示が出され、多くの方が避難所に避難しました。私たちの中学校も避難所となりました。しかし慣れない避難のため、いつ避難したらいいのか、何を持っていったらいいのかなど迷った人も多かったと思います。また、お年寄りは一人での避難は大変心細いのではないでしょうか。

そこで、地域ごとに避難の心得や目安を共有する機会を設け、避難訓練を行い、日頃から近所の方とのつながりを保ち、いざという時には助け合って避難できるような体制を作っておくのはどうでしょうか。

【答弁】市長

鈴木悠太議員さん、岡村悠希議員さん、
西澤こはる議員さんの質問に、
私から全般的にお答えします。

始めに**鈴木さんの「市内の暑さ対策について」**ですが、熊谷市では、夏の暑さから市民の皆さんの健康を守るため、様々な暑さ対策を行っています。

鈴木さんが受けてくれた「暑さ対策マスター検定」は、今年新たに取り組んだものの一つですが、熊谷市の取組は、市報やホームページでお知らせしているほか、毎年のように多くの新聞やテレビ等でも紹介されています。これからもこうした機会を通じて、熱中症予防を始めとする「暑さ対策日本一」を発信していきたいと考えています。

また、各小中学校での工夫を凝らした熱中症予防等の取組は、家庭や地域を通じ、広く根付いていくことが期待できますので、これからも皆さんの活動を応援していきたいと思っています。

次に、**岡村さんの「南海トラフの対策について」**ですが、南海トラフ地震を始め、首都直下地震など、熊谷市でも大きな被害が出ることが想定されます。熊谷市のハザードマップでは、被害が想定される範囲はもちろん、家具の固定や食べ物の備蓄など日頃の備えや避難方法等を掲載し、身を守るための行動を市民の皆さんに周知しています。大きな地震が起きた時は、慌てず、冷静に行動することが大切です。そのために、皆さんが学校で避難訓練をするように、熊谷市でも防災訓練を行い、避難行動や救出救助について確認しています。

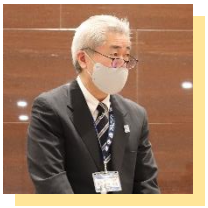
現在は、避難所の開設がスムーズにいくような準備や、開設した場合の食料や生活用品など、備蓄品の充実を進めており、今後も、地震や風水害などの大きな災害の時に、市民の皆さんが安心して安全に過ごせるように取り組んでいきたいと考えています。

次に、**西澤さんの「熊谷市の災害対策について」**ですが、昨年の台風19号では、熊谷市では初めて全地域に避難指示を発令しました。市内で50か所以上の避難所を開設し、1万人以上の方が避難しました。風雨の強い中で避難することは大変です。現在は一人暮らしのお年寄りも多いので、地域で支え合うことが必要となります。各地域で行っている自主防災訓練で、高齢の方や障害をお持ちの方を地域の皆様が協力しあって避難を行うことなどが大切と考えています。

既に、そうした協力体制を作っている地域もありますので、自主防災訓練などの機会に呼びかけ、地域の防災力を高めていきたいと考えています。

玉井中学校　鈴木　悠太　議員

【答弁】 市長公室長



鈴木悠太議員さんの「市内の暑さ対策について」にお答えします。

熊谷市では、平成22年から若手職員を中心とする「暑さ対策プロジェクトチーム」を立ち上げ、駅の階段を涼しく演出する「階段アート」や玉井中学校の皆さんが、体育祭で熱中症予防を地域へ呼びかけてくれた「地域へ発信!中学生サポーター事業」など、毎年新たな「熊谷オリジナルの暑さ対策」を提案、実施しています。

これらの取組は各方面からの評価も高く、「暑さ対策日本一」のまちとして注目され、テレビや新聞などの取材や、有名な大企業からのタイアップのお話などを数多く頂くようになりました。こうした機会を積極的に活用し、これからも「熊谷市の暑さ対策」を全国にPRしていきたいと思います。

また、皆さん自身が、これまで学んだ熱中症の予防や対処法を身近な人だけでなく、卒業後も広く発信してくれることが、何よりも多くの人に「熊谷市の暑さ対策」を知ってもらうきっかけとなります。これからも工夫をしながら、「暑さ対策日本一」の取組を発信していきますので、皆さんも応援よろしくお願いします。

荒川中学校　岡村　悠希　議員

【答弁】 危機管理監

岡村悠希議員さんの「南海トラフの対策について」にお答えします。

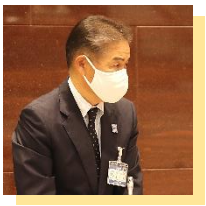
大きな被害をもたらした東日本大震災から9年が経過しました。その後も全国各地で地震が起き、大きな被害が発生しています。幸いにして熊谷市では大きな地震は起きていませんが、いつ起こるのか分かりません。そのため熊谷市では、定期的に防災訓練を行っています。また避難所を開設した時のために、13万食以上の食料や水、2万5千枚以上の毛布や停電時に使用する発電機、感染症対策として非接触型の体温計や消毒液など備蓄品の充実を進めています。

このほか、他の市町村や様々な企業と災害時応援協定を結び、災害時に必要な物資を整えられるようにしています。

また、現在熊谷市では、ハザードマップの改訂を進めていて、12月には市内の全家庭に新しいマップを配布する予定です。この中では、地震が発生した時の行動の目安や家の地震対策についても掲載しますので、岡村さんも家族の皆様とご覧いただき、日頃の備えや避難場所の確認など、防災について考えるきっかけにしていただきたいと思います。

吉岡中学校　西澤　こはる　議員

【答弁】危機管理監



西澤こはる議員さんの
「熊谷市の災害対策について」
お答えします。

大きな災害は、毎年各地で発生していて、今年も7月に九州を中心とした集中豪雨が発生し大きな被害が出ました。

昨年の台風19号では、熊谷市内を流れる大きな川が氾濫するような被害はありませんでしたが、同じような台風がいつ来るか分かりませんし、地震への備えも必要です。そのため、各地域の自主防災組織は、「自分たちの地域は自分たちで守る」ため定期的に防災訓練を行っています。また、ある地区では、独自の「地区防災計画」を作成し、避難行動や避難所生活などに備えています。それらの訓練を通して近所付き合いが深まり、お互いに助け合う「共助」の精神による地域防災力が高まると思います。

質問番号 2
総合政策部関係

- 議席番号7　中条中学校　石井　浩樹（いしい　ひろき）議員
- 議席番号10　吉岡中学校　安部　慧星（あべ　けいせい）議員
- 議席番号12　妻沼西中学校　内田　美空（うちだ　みそら）議員
- 議席番号14　別府中学校　新堀　剛琉（にいぼり　たける）議員

中条中学校　石井　浩樹　議員

▸ 人口増加対策について

現在日本では「少子高齢化」が社会問題となっています。私の住む地域も少子高齢化は進んでおり、運動会は独自開催をすると半日で終わってしまいます。そこで、小・中・地区で合同大運動会とし、盛り上げています。しかし、私の通った小学校も数年後には統合され、なくなってしまいます。地域の方々からは、140年以上もの歴史のある小学校の廃校を、残念がる声を多数耳にします。

このように、地域一体で盛り上げている学校を統廃合せざるを得ない少子化問題に対し、どのような方向性を持った少子化に対する人口増加策を掲げていますか。また、その方策をどのような計画で進め、どういった人口増加を予想されているのでしょうか。

吉岡中学校　安部　慧星　議員

お年寄りの交通手段について

熊谷市では、ゆうゆうバスが走っていますが、吉岡地域にはバス停が少ないです。私の祖父はバス停まで遠くて歩けないと言っていました。高齢なので車の免許を返納したいけれど、交通手段がなくなってしまうと心配しています。そういうお年寄りはたくさんいるのではないかと思います。現在の熊谷市では高齢者向けの路線バス乗り放題定期券があると聞きましたが、毎日使わない人には値段が高いと思います。そのため、お年寄りには熊谷市から補助を出して、格安でタクシーを使えるようにしたり、ゆうゆうバスのバス停を増やして、もっと活用しやすくするのはいかがでしょうか。

妻沼西中学校　内田　美空　議員

ゆうゆうバスの利便性の向上について

熊谷市ではゆうゆうバスが運行されていますが、場所によって3時間に1本の運行であったり、妻沼からでは熊谷駅まで1時間かかったりします。そのため家族や地域の方々からも交通手段が少ないので困っていると聞いています。そこで現在バス1本を運行するのにどれくらいの費用がかかっているのか教えていただき、その上で費用や利用者数などの面で考え、可能であればバスの本数を増やすだけでなく、何本かに1本は急行バスを運行してはいただけないでしょうか。私たちも学校でゆうゆうバスの利用を生徒や保護者にPRし、利用者数を増やしていきたいと思います。

別府中学校　新堀　剛琉　議員

小・中学校の統廃合による残された校舎の活用について

近い将来、小・中学校の統廃合が進められていくということを、地域で配布されたお知らせで知りました。

統廃合が進んでいくということは、使わなくなった校舎や校庭が増えていくということだと思います。

残された校舎などはどのように活用していく予定なのか、教えてください。

【答弁】 市長

石井浩樹議員さん、安部慧星議員さん、
内田美空議員さん、新堀剛琉議員さんの質問に、
私から全般的にお答えします。

始めに、**石井さんの「人口増加対策について」**ですが、現在、全国的に少子化が課題となっており、熊谷市でも、児童生徒の数が減少し、一つ一つの学校の規模が小さくなってきています。そのため、学校の統廃合を検討せざるを得ない状況にあり、学校を支えていただいている地域とのつながりが失われてしまうのではないかという心配の声も聞かれます。

これからは、現在まで築かれた児童生徒と地域のつながりや活気を持続できるような仕組みづくりを進めるとともに、人口減少対策として策定した「熊谷市人口ビジョン・総合戦略」の取組を進め、人口減少幅をできるだけ抑えることを目指していきたいと考えています。

次に、**安部さんの「お年寄りの交通手段について」**ですが、熊谷市では、自動車運転免許を返上した方や高齢者の方など、市民の皆さんが安心して便利に暮らしていただけることを目指して、鉄道駅や路線バスの停留所がない地域を中心に、ゆうゆうバスを運行しています。また、バス事業者や市民の方に出席いただく会議を開いて、ルートの変更やバス停の増設など、定期的に見直しをしていますので、地域の方々の要望などをお聞きし、今後も検討を続けていきたいと考えています。

また、高齢者の方へのタクシー利用に対する補助についてですが、高齢者の移動手段としては、費用はかかるものの、タクシーは便利で、重要な役割を担っている公共交通手段であると思います。そのため、他の市町村で補助制度を導入した例などの調査・研究が必要であると考えています。

次に、**内田さんの「ゆうゆうバスの利便性向上について」**ですが、ゆうゆうバスは、今年9月から新しく「くまぴあ号」の運行を始め、そのほか、さくら号、ひまわり号、グライダー号、ほたる号などを運行しています。より利用しやすい運行方法に変更したり、本数を増やしたりするためには、利用者を増やし、収益を上げていくことが重要だと考えています。

これからも、市民の方が便利に利用できるように、買い物や病院だけでなく、市内のイベントへの参加などにもゆうゆうバスを利用してもらえるよう、PRしていきたいと思います。

次に、**新堀さんの「小・中学校の統廃合による残された校舎の活用について」**ですが、先ほども触れたとおり、熊谷市には、少子化により児童生徒数が減少している小中学校があります。学校は、皆さんが成長していく過程で、知識を修得するだけでなく、集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合って、思考力や表現力、問題解決能力等を育み、社会の仕組みなどを学んでいくところです。そのためには、ある程度の規模の中で、学校生活を送ることが必要と考えています。熊谷市の学校は、地域の中心的な役割を担っていますので、その統合は、それぞれの学校の将来人数予測と、実際にそこに住む子どもの人数を確認しながら慎重に進めていきたいと考えています。そして、統合によって使われなくなった校舎などを、どのように活用できるか、地域の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

中条中学校　石井　浩樹　議員

【答弁】副市長

石井浩樹議員さんの「人口増加対策について」にお答えします。

熊谷市の人口は平成12年をピークに減少に転じ、この減少をどれだけ抑えることができるかが重要な課題となっています。そのためには、出生者数が少なく死亡者数が多いことによる自然減と、転入者数よりも転出者数が多いことによる社会減の両方の面からの対策が必要です。

そこで、人口減少対策として「熊谷市人口ビジョン・総合戦略」を策定し、「熊谷で働き続け、暮らし続けられる雇用の場を作り出すこと」、「子育て世代等にとって暮らしやすく魅力的なまちづくりにより、熊谷への転入や定住を促進すること」、「出産や子育てに対する支援」という3つの基本目標のもと、様々な取組を行っています。具体的には、熊谷市に転入した若い方に対しては、住宅を取得した後にかかる税金の免除、新幹線で東京都内等へ通勤する場合の定期券購入補助などを行い、子育てをしている方に対しては、気軽に相談できる総合窓口や親子の交流拠点の設置などを行っています。

今後も、この取組を継続し、子どもたち、働く世代、高齢者の人口の偏りを減らして、人口減少を抑えられるよう取り組んでいきたいと考えています。

吉岡中学校　安部　慧星　議員

【答弁】　総合政策部長

安部慧星議員さんの「お年寄りの交通手段について」にお答えします。

始めに、タクシー利用への補助ですが、タクシーは、どこからでも乗車でき、乗り換えなしで目的地に到着できることから、大変便利な点がメリットですが、路線バスに比べると費用が高いこと、一度に運べる人数が少ないことなど、デメリットもあります。どれくらいの人が、どのような利用方法を希望しているのかも含め、他市町村の事例を調べ、検討していきたいと考えています。

次に、ゆうゆうバスのバス停についてですが、定期的に見直しを行っています。バス停を増やすことは、便利になる人がいる一方で、停車する回数が増えて全体の時間が長くなり、影響を受ける人が少なからずいることも考えられます。

これからも、いろいろな人の意見を聞きながら、より利用しやすいものなるように改善していきたいと考えています。

妻沼西中学校　内田　美空　議員

【答弁】　総合政策部長

内田美空議員さんの「ゆうゆうバスの利便性の向上について」にお答えします。

市内のゆうゆうバスは、今年の9月1日に本格運行が始まったスクマムラッピングの「くまぴあ号」を含めて、現在8路線10系統のバスがあり、昨年度は全路線の合計で年間23万人を超える皆さんの乗車がありました。

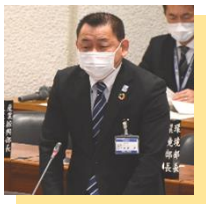
しかしながら、より多くの方に利用してもらえるように、運賃を100円と安く設定しているため、実際の収入は少なく、昨年度、熊谷市はバス事業者に対し約1億円を補助し、バス1台当たり約1,600万円の費用で運行をしています。

このような中、本数を増やすなど、より利便性を向上させるために、バス路線や時刻表の見直しを行っており、内田さんのお住まいの妻沼地域では、まちなかをきめ細かに循環するグライダーワゴンの運行と妻沼行政センターと熊谷駅とを結ぶグライダー号の運行をしています。そのほか、民間の路線バスも運行され、急行バス的な役割を担っているといえます。

市ではこれからも、ゆうゆうバスを始めとする公共交通のあり方を検討し、市民の皆さんの利便性向上につながるよう考えていきます。

別府中学校　新堀　剛琉　議員

【答弁】　総合政策部長



新堀剛琉議員さんの「小・中学校の統廃合による残された校舎の活用について」にお答えします。

他市町村では、大学のサテライトキャンパスや魚の養殖・加工施設、ドローン操縦士養成教習所などにリニューアルされた例もあります。熊谷市でも、閉じた後の中学校については、跡地売却などにより、このような民間活用も選択肢の一つとなります。

一方、小学校については、統廃合後も地域活動の拠点となるように、主に「地域拠点施設」としての再整備を考えています。具体的には、元の学校体育館や校庭を地域の施設として残すとともに、集会などに利用される「地域会館」を併設します。

さらに、学校跡地に駐車場や駐輪場を整備するとともに、バス停を設け、公共交通網への接続点とする活用方法も考えられます。移転した学校に通っていた児童は、この地域拠点施設まで「登校」し、ここからスクールバスで通学する方法もあります。また、必要に応じて、コンビニエンスストア、診療所、薬局等の民間施設を誘致し、地域の日常生活の利便性向上を図ることも考えられます。

このように、地域拠点施設がその地域の活動を支える基盤となるよう、地域の皆さんの意見を伺いながら、先を見据えた再整備を行う必要があると考えています。

質問番号 3
総合政策部関係

- 議席番号16　奈良中学校　大澤　純大　（おおさわ　じゅんだい）議員
- 議席番号18　大幡中学校　戸嶋　花歩（としま　かほ）議員
- 議席番号20　三尻中学校　久保田　真紘（くぼた　まひろ）議員

奈良中学校　大澤　純大　議員

▶ 野球をする子どもの数の減少について

私は野球部に所属しています。学校の野球部は13人でチームが編成できますが、ほかの中学校では部員数が足りず、合同チームを編成する学校もあるときいています。

熊谷市はラグビータウンとして有名ですが、BCリーグ所属の「埼玉武蔵ヒートベアーズ」という独立リーグのチームがあります。そこで、ラグビーの「アルカス熊谷」のように、「埼玉武蔵ヒートベアーズ」の方に小中学生に野球を教えていただくことはできないでしょうか。そして、このような機会を設けることによって野球に興味を持ち、小中学生の野球人口が増えるとともに、熊谷市スポーツ推進計画にあるスポーツとの連携・協働による活力あるまちづくりの推進にもつながると思います。

大幡中学校　戸嶋　花歩　議員

▶ “雪くま”で観光客の増加を目指す

私は熊谷市で行われる夏のイベントが好きで、毎年参加しています。たくさんの人でにぎわいますが、もっと様々な人が、熊谷市に興味を持って、観光に来ていただきたいです。

そこで、熊谷市の名物である“雪くま”を、もっと推していくべきだと考えます。熊谷市のグルメである雪くまは、まちおこしの一環としてブランド化しました。熊谷市内めぐりを兼ねて、今ある雪くまマップをスタンプラリー形式にすることを提案いたします。一定数ためると暑さ対策グッズと交換できるなど老若男女が楽しめるキャンペーンをすることで、雪くまをきっかけとして、また熊谷市に食べに来てくれるかもしれません。

三尻中学校　久保田　真紘　議員

▶ ラグビーワールドカップ後の熊谷市について

私は、「ラグビータウン」である熊谷市を、もっと多くの人に知ってもらいたいと考えています。昨年、熊谷市でも開催されたラグビーWCによって、熊谷市は世界中の人々に知ってもらうことができました。しかし、コロナの流行とともに、「ラグビータウン」であるという印象が徐々に薄まってきてしまっているように感じています。

今後、熊谷市をもっとアピールするためにも、移転が決まった「ワイルドナイツ」と小中学生の交流イベントの開催、熊谷市の名物である「雪くま」や「熊谷うどん」などのグルメに、ラグビーメニューを取り入れるのはどうかと考えています。「ラグビータウン」としての熊谷市の今後の取組について、教えてください。

【答弁】 市長

大澤純大議員さん、戸嶋花歩議員さん、
久保田真紘議員さんの質問に、
私から全般的にお答えします。

始めに、**大澤さんの「野球をする子どもの数の減少について」**ですが、熊谷市は、ラグビーと同じように野球も盛んであり、週末には市内の多くの場所で、子どもから大人までたくさんの愛好者が白球を追う光景が見られます。しかしながら、少子化の影響もあり、野球をする子どもたちの数は徐々に減っていて、市内中学校の野球部員数は、ここ5年間で約2割減少しています。

こうした状況を少しでも改善するためには、熊谷市を拠点とする埼玉武蔵ヒートベアーズの選手やスタッフに協力していただくことは大変効果的であり、野球人口の増加だけでなく、スポーツ振興による地域活性化のためにもとても重要なことだと考えています。

次に、**戸嶋さんの「“雪くま”で観光客の増加を目指す」**についてですが、雪くまは、平成18年に誕生しましたので、皆さんと同じ14歳になります。

販売当初からたくさんの愛情を受けて、今では、市を代表するブランドとしてすっかり定着し、熊谷市を訪れる大勢のお客様に親しまれています。戸嶋さんから提案のあったアイデアを含め、観光客の増加につながるよう、様々な工夫をしながら、今後も雪くまの魅力を広く発信していきたいと思います。

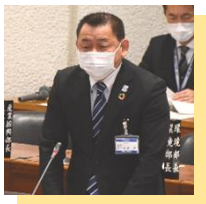
次に、**久保田さんの「ラグビーワールドカップ後の熊谷市について」**ですが、昨年のラグビーワールドカップ2019日本大会は、日本代表の快進撃もあって、今までラグビーに関心のなかった人たちをも巻き込んで、日本中がラグビーに沸き返るという大成功を収めました。

あの熱狂からちょうど1年がたちましたが、この大会は、熊谷市にとって、まさに大きな節目になるとともに、「スクマム！クマガヤ」のスローガンの下、ラグビータウン熊谷の新たな活動へとつなげることもできました。

また、来年には、ラグビートップリーグのパナソニック ワイルドナイツが、熊谷にやってきます。ラグビータウン熊谷に強力な柱が加わることになりますので、ワイルドナイツとも連携しながら、ラグビータウンを盛り上げていきたいと思っています。

奈良中学校　大澤　純大　議員

【答弁】総合政策部長



大澤純大議員さんの「野球をする子どもの数の減少について」にお答えします。

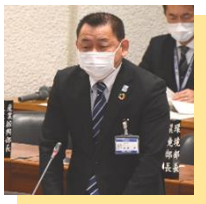
埼玉武蔵ヒートベアーズは、地域密着型の球団として、試合会場でのファンサービスや少年野球教室のほか、小学校での挨拶運動など、これまでにも、様々な地域貢献活動に取り組んできています。また、今年の6月には、野球を通じて更に地域を盛り上げていきたいという考えの下に、熊谷市とヒートベアーズが相互に連携・協力していくためのフレンドシップ協定を新たに締結したところです。この協定に基づき、野球をしていない子どもたちに野球の楽しさを体験してもらえるような事業にも、ヒートベアーズの皆さんに、これまで以上に積極的に協力していただきたいと考えています。

プロの選手によるこのような取組がきっかけとなり、野球に興味を持ったり、好きになったりする子どもたちが増えていくことで、野球人口の増加や、スポーツによる活力あるまちづくりの推進につながっていくと考えていますので、ヒートベアーズと相談しながら、連携・協力して進めていきたいと思います。

皆さんにもぜひ、地元のプロ野球チームである埼玉武蔵ヒートベアーズの活動を、応援していただきたいと思います。

大幡中学校　戸嶋　花歩　議員

【答弁】総合政策部長



戸嶋花歩議員さんの「“雪くま”で観光客の増加を目指す」にお答えします。

雪くまは、暑い熊谷ならではのご当地名物として考案し、平成18年から本格的に販売開始されました。当初11店舗だった雪くま販売店も、現在では32店舗となり、今では、雪くまを目当てに熊谷市を訪れるお客様も大勢いらっしゃるようになりました。雪くまの市内での認知度は92.9パーセントと高く、市民の方にはかなり定着していますが、更に多くの方へも熊谷ブランドを広めていくために、雪くまや熊谷うどん等を掲載したマップである「熊谷ご当地グルメガイド」を市外にも配布しているところです。

今回、戸嶋さんからご提案いただいた、スタンプラリー形式にする方法は、繰り返し熊谷に来訪するきっかけとなる効果的な手段になると思いますので、発行元である熊谷市観光協会や雪くま販売店の皆さんと検討していきたいと思います。

これからも雪くまのおいしさや魅力を伝え、一人でも多くの方に熊谷市へ来ていただけるよう、引き続き取り組んでいきたいと考えていますので、戸嶋さんを始め中学生の皆さんにも協力していただき、お気に入りの推し雪くまを、ぜひ宣伝していただければと思います。

三尻中学校　久保田　真紘　議員

【答弁】総合政策部長

久保田真紘議員さんの「ラグビーワールドカップ後の熊谷市について」にお答えします。

いよいよ来年、パナソニック ワイルドナイツが熊谷にやってきますが、チームとの交流は既に始まっています。例えば昨年、ワイルドナイツの選手が別府小や成田小を訪れ、ラグビーのデモンストレーションや、質問コーナー、夢の実現に向けたアドバイスなどで、子どもたちと交流しました。チームとも相談しながら、このような機会を増やしていきたいと思います。

また、提案を頂きましたラグビーメニューについては、既に「雪くま」や「熊谷うどん」でラグビーにちなんだ商品が一部で販売されていますが、それ以外でも、多くのお店や市民の皆さんが、工夫を凝らしてメニューやグッズを開発したり、スクマムのキャラクターデザインを商品や広告に取り入れるなど、様々な活動が広がってきています。今度は、ワイルドナイツとのコラボ商品なども開発されたら面白いと思います。久保田さんも、ぜひ楽しみにしていてほしいと思います。

これからも、「スクマム！クマガヤ」のスローガンのもと、ワイルドナイツとも協力しながら、ラグビータウンを更に盛り上げ、広くPRしていきたいと思っています。

質問番号 4
市民部関係

- 議席番号21　妻沼東中学校　鈴木　陽介（すずき　ようすけ）議員
- 議席番号23　富士見中学校　馬場　佳帆（ばば　かほ）議員
- 議席番号25　奈良中学校　松崎　里沙（まつざき　りさ）議員

妻沼東中学校　鈴木　陽介　議員

▸ 熊谷市のキャラクターについて

熊谷市にはニャオざねというキャラクターがいます。熊谷市のホームページで調べたところ、平成20年に誕生したということで、12年の歴史があります。私はニャオざねがとても好きですが、アートやアニメーションが進化している現代では、12年前というと少し古く感じられるのも事実です。そこで、熊谷市のキャラクターの見直しを検討する時期だと考えられます。

ニャオざね自体をリニューアルするのもそうですが、ほかのキャラクターを増やすなどして改良をすれば、熊谷市に興味を持つ人も増えると考えましたが、何かキャラクターについて計画はありますか。

富士見中学校　馬場　佳帆　議員

▶ まちなかオアシスについて

熊谷市では暑さ対策事業として、まちなかオアシスが設置されています。まちなかオアシスは熱中症の重症化を防ぐ効果的な取組だと思います。しかし、その存在や設置場所を知らない市民が多いことが現状です。この状況を改善し、まちなかオアシスを多くの市民にとって身近な存在にすることによって、更に有効活用することができると思います。

そこで、まちなかオアシスについて紹介したポスターを作成し、市民に配布したり掲示したりするということはどうでしょうか。

奈良中学校　松崎　里沙　議員

▶ 自転車の乗り方について

昨年、熊谷市内での自転車事故による死傷者は147人でした。自転車の乗り方や不注意によって尊い命が失われるのは非常に悲しいことです。

そこで、自転車による事故を1件でも減らすために、市全体で自転車の乗り方について改めて考えたり、振り返ったりする期間を設けることを提案します。「交差点での一時停止」、「並列運転」、「イヤホンをつけての運転」など日常的に見かける危険な乗り方は問題だと定期的に認識することで、事故が減ると考えます。期間中には自転車事故の事例を市内の各学校で見たり、標語やポスターを募集したり、安全パトロールを実施したりするのが良いと思います。熊谷市の現在の取組についてもお聞きしたいです。

【答弁】市長

鈴木陽介議員さん、馬場佳帆議員さん、
松崎里沙議員さんの質問に、
私から全般的にお答えします。

始めに、**鈴木さんの「熊谷市のキャラクターについて」**ですが、平成20年に市民活動のイメージキャラクターとして誕生したニャオざねは、平成25年7月に熊谷市のマスコットキャラクターとなり、様々なイベントに参加し、活動の場を広げてきました。12年前に誕生したニャオざねを、多くの皆さんに育てていただき、市のマスコットとして親しんでいただいていることに感謝しています。「マスコット」という言葉の語源には、「人々に幸運をもたらすもの」という意味があるそうですので、これからも、皆さんが笑顔で幸せな毎日を送れるように、ニャオざねやほかのキャラクターを、様々なイベントや地域行事で積極的に活用し、熊谷市を盛り上げていきますので、応援をよろしくお願いします。

次に、**馬場さんの「まちなかオアシスについて」**ですが、まちなかオアシスは、若手職員を中心とした「暑さ対策プロジェクトチーム」が考えた熊谷オリジナルの暑さ対策の一つで、暑さにより、屋外等で気分が悪くなった人が一時的に休む場所として、毎年6月から9月に、市役所の1階ホールなど、市の施設22か所に設置しています。平成23年度に開始してから今年で10年となりますが、この間、多くの皆さんに利用していただき、マスコミなどでも度々取り上げられています。

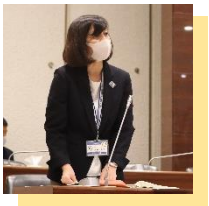
暑さから市民を守る「まちなかオアシス」は、これからも市民に有効に活用されるよう、その役割や設置場所について、周知していきたいと考えています。

次に、**松崎さんの「自転車の乗り方について」**ですが、自転車事故による死傷者数は年々減少しているものの、まだまだ多い状況です。この対策として、熊谷市は埼玉県とともに、自転車の乗り方を改めて考える期間として、毎年5月を「自転車マナーアップ強化月間」に、また、毎月10日を「自転車安全利用の日」に定め、安全な利用を促進する、様々な取組を行っています。警察や交通安全協会など関係団体と協力しながら、交通安全対策に努め、自転車の正しい乗り方について啓発していきたいと考えています。

中学生の皆さんは、自転車に乗る機会が多いと思いますので、二人乗りや、並んで走るなど危険な運転をしないよう、交通ルールを守って安全な運転を心がけてください。

妻沼東中学校　鈴木　陽介　議員

【答弁】 市民部長



鈴木陽介議員さんの「熊谷市のキャラクターについて」にお答えします。

ニャオざねは、熊谷市のマスコットキャラクターですが、「ゆるっとくまがや盛り上げ担当主査」という市の職員でもあります。7月に、皆さんに配布しました「こども広報くまがやキッズ」では、10年目を迎えた市の職員として、これからも熊谷市を盛り上げていく決意を強く誓ったところです。また、昨年は、ラグビーワールドカップ開催をPRするために、ラグビー選手となった「ラガーニャン」も誕生し、妻沼東中学校で行われた「タグラグビーキックオフセレモニー」を始め、ラグビーイベントを盛り上げてくれました。

新しいキャラクターの提案も頂きましたが、昨年は新たに、ラグビータウン熊谷のシンボルマークとして「スクとマム」が誕生しました。また、妻沼の縁結びキャラクター「えんむちゃん」もいますので、同じ熊谷市のキャラクターとして、市のPRのために、共に活動していきたいと考えています。

ニャオざねが、更に多くの市民の皆さんに愛されるキャラクターになるよう、これからも、ニャオざねの新しいデザインやグッズを作成したり、ツイッターで情報発信したりするなど、PR活動に努めていきますので、応援していただきたいと思います。

富士見中学校　馬場　佳帆　議員

【答弁】 市民部長

馬場佳帆議員さんの「まちなかオアシスについて」にお答えします。

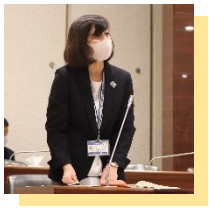
まちなかオアシスは、市役所本庁舎、大里、妻沼、江南の各行政センター、さくらめいとなどの文化施設、主要な公民館に設置し、暑さで気分が悪くなった人が休むことのできる場所を用意し、体温を下げるためのうちわや霧吹き、強くたたくだけですぐに冷える瞬間冷却材などをセットにした「熱中症応急キット」や「清涼飲料水」を備えています。

今年の夏は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で利用人数が減少しましたが、例年は、市全体で、約2,000人の方が利用しています。周知については、市報やホームページで広報するとともに、設置場所にのぼり旗を置いています。また、クールシェアスポットとしても広報していますが、より多くの人に知ってもらい、活用してもらうために、市民に分かりやすいよう工夫していきたいと考えています。

これからも、熱中症で救急搬送される人が少しでも減少するよう、まちなかオアシスも含め、暑さ対策の周知に努めていきます。

奈良中学校　松崎　里沙　議員

【答弁】 市民部長



松崎里沙議員さんの「自転車の乗り方について」にお答えします。

毎年5月の「自転車マナーアップ強化月間」や、毎月10日の「自転車安全利用の日」については、街頭啓発や、ホームページ、市報、メール配信サービスメルくまでの広報活動、安全パトロール等を行い、交通安全や自転車安全利用について啓発しています。そのほか、春・夏・秋・冬の交通安全運動期間には、警察や交通安全協会と協力して、同様の取組を行っています。

小中学校では、交通安全教室を警察と協力して開催し、自転車の実技講習や事故事例の紹介等を行っており、県から自転車安全利用指導員として委嘱された先生にも指導をしていただいています。

また、児童・生徒の皆さんに交通安全について考えてもらう取組として、標語やポスター等の募集も行っており、標語は、自転車マナーアップ推進校である中学校と、交通安全子供自転車大会に出場した小学校にお願いし、毎年、交通安全スローガンを決定しています。また、交通安全ポスターや作文は、交通安全協会で募集を行っていますので、積極的に応募してもらいたいと思います。

これからも、関係団体と協力して様々な取組を行い、自転車事故を1件でも減らすために交通事故防止に努めていきます。

質問番号 5
福祉部関係

- 議席番号27　大原中学校　坂本　壮吾（さかもと　そうご）議員
- 議席番号29　大麻生中学校　松井　琥太郎（まつい　こたろう）議員
- 議席番号31　江南中学校　藤野　蓮（ふじの　れん）議員

大原中学校　坂本　壮吾　議員

蚕業試験場跡地について

私の通っている大原中学校の近くには、蚕業試験場跡地があります。現在は、子どもの遊び場になっていたり、高齢者が散歩をしていたりと市民の憩いの場になっています。ですが今後、保育園等の建設が予定されていると聞きました。近辺には小中学校もあり、子どもが多いので大変便利になりそうです。しかし、これでは憩いの場である遊び場や散歩コースがなくなってしまいます。

そこで、保育園等と遊び場や散歩コースを共存させてはどうでしょうか。そうすると、もっと人が集まると思います。また、蚕業試験場跡地の周りの道路を広くしたりきれいにしたりすることも、良いと思います。

大麻生中学校　松井　琥太郎　議員

未就学児が無料で遊べる室内施設について

現在、太田市や千葉県内には、未就学児が無料で遊ぶことのできる室内施設があり、子育てをしている親が、子どもと一緒に雨の日や真夏日などに無料で安心・安全に時間を過ごすことができるそうです。

このような施設があることによって、家庭内で孤独になりがちな母親と子どもが、同じような環境にいる人と悩みを共有できたり、周りの人たちの目があることによって虐待等を防げたりなど、たくさんのいいことがあると思います。なので、このような施設が熊谷市にもあったらいいと思うのですがいかがでしょうか。

江南中学校　藤野　蓮　議員

学童保育について

学童クラブの数をもっと増やしてはいかがでしょうか。

私の通っていた小学校の学童クラブでは、低学年の児童が優先で、高学年の児童は入ることができませんでした。地区で一つ学童クラブが増えましたが、それでも高学年児童は入ることができていません。保護者も、子どもだけで家にいるのは、何かあったときに心配だと感じているそうです。

学童クラブの数を更に増やすことで、保護者の不安も解消されますし、児童が事件に巻き込まれる危険性も低くなると思います。

【答弁】 市長

坂本壮吾議員さん、松井琥太郎議員さん、
藤野蓮議員さんの質問に、
私から全般的にお答えします。

始めに、**坂本さんの「蚕業試験場跡地について」**ですが、現在この場所は、ひろばとして親しまれていますが、今後、保育所など子育てに関係する市の施設を集約し、再整備します。この場所は十分なスペースもあるため、遊具や散歩コースなどの設置も検討しています。

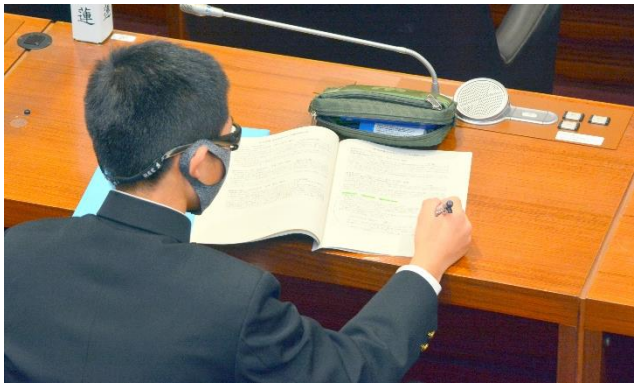
子育て世代を始め、多くの市民に親しんでいただける施設となるよう、整備を進めていきます。

次に、**松井さんの「未就学児が無料で遊べる室内施設について」**ですが、天候に左右されずに安心して遊べる施設として、蚕業試験場跡地ひろばに、こどもセンターの設置を考えています。この施設は、兄弟のいる家族も気軽に利用できるよう、未就学児だけでなく、小・中学生も利用できる施設として整備していきます。

また、「子育て世代包括支援センター」などを設け、子育てに関する相談が気軽にできる機能を持たせていきます。

次に、**藤野さんの「学童保育について」**ですが、学童クラブは、5年間の整備計画を立てて整備を進めているところです。

これまで、平成27年度から令和元年度までの5年間で20クラブを整備しましたが、令和2年度から6年度までの計画においても待機児童の状況を見ながら整備を進めていきます。



大原中学校　坂本　壮吾　議員

【答弁】福祉部長

坂本壮吾議員さんの「蚕業試験場跡地について」にお答えします。

坂本さんのご質問のとおり、蚕業試験場跡地ひろばは、周辺に小中学校・高校があり、子育てに関する施設を整備するには適した場所であり、この場所に老朽化が進む子育て関連の市有施設を集約し、利便性の向上を図りたいと考えています。

整備に当たっては、子どもの遊びの場・学びの場の機能を持ち、夏の暑い日や雨の日にも体を動かして遊べる、こどもセンターの設置を検討しています。屋内には、遊具のある遊戯室や軽体育室、図書コーナー、ダンススタジオ、屋外には、遊具や散歩コースを設置することを考えています。蚕業試験場跡地には、立派な樹木が多数ありますので、これらをできるだけ生かし、赤ちゃんからお年寄りまで、様々な方が利用できる、憩いのひろばとなるよう、整備を進めていきます。

また、周辺道路につきましては、通学路になっていますので、安全対策を図りながら整備を進めていきます。

大麻生中学校　松井　琥太郎　議員

【答弁】福祉部長

松井琥太郎議員さんの「未就学児が無料で遊べる室内施設について」にお答えします。

子育てをしている市民の実情を把握し支援につなげるため、平成30年度に子ども・子育て支援に関するニーズ調査を実施しました。調査では、松井さんからご質問をいただいたような未就学児が天候に左右されずに遊べる室内施設や、気軽に相談に行ける子育て支援施設の整備に関する要望が多数寄せられました。

これらのニーズに対応するため、蚕業試験場跡地ひろばに、こどもセンターの設置を考えています。ここでは、子どもの遊びの場・学びの場を提供するほか、子育てに関する相談や情報交換ができるよう、「子育て世代包括支援センター」や「子育てひろば」の機能をこどもセンター内に持たせるため、検討を進めています。

この場所が子育てに関わる全ての人にとって身近な存在となるよう、整備を進めていきます。

江南中学校　藤野　蓮　議員

【答弁】福祉部長

藤野蓮議員さんの「学童保育について」にお答えします。

学童クラブについては、「熊谷市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、平成27年度から令和元年度までの5年間で20クラブを整備し、675人の定員増を行ったところです。その結果、令和2年4月1日現在で市立児童クラブは50クラブ、2,210人の定員となり、市内全小学校区に児童クラブを整備することができました。

一方、共働き世帯の増加等により入所希望者は引き続き増加傾向にあることから、令和2年度から6年度までの「第2期計画」においても、待機児童の状況に応じて整備を進めていくこととしています。また、こうした通常の整備に加えて、特に利用希望の多い夏休み期間について、学校の余裕教室を利用した期間限定の児童クラブを開室し、多様なニーズに応じた児童クラブ運営を行っています。

質問番号 6
環境部関係

- 議席番号2　玉井中学校　加藤　ひな美（かとう　ひなみ）議員
- 議席番号4　大麻生中学校　吉際　里咲（よしぎわ　りさ）議員
- 議席番号6　中条中学校　江森　舞（えもり　まい）議員
- 議席番号8　妻沼東中学校　渡辺　夢楓（わたなべ　ゆめか）議員

玉井中学校　加藤　ひな美　議員

私たちにできる温暖化対策について

現在、二酸化炭素の排出量が多いことは、熊谷市のみならず全世界で問題となっています。私たちは「キッズISO」や「エコライフ」などの取組を行い、地球温暖化防止に向け、積極的に取り組んでいると実感しています。熊谷独自の「エコ検定」の実施や、例えば八木橋のような人の多く集まる場所に、省エネ効果の分かる「エコ時計」を設置し、熊谷市民全員が取り組んでいる成果を「見える化」するのはどうでしょうか。ご意見を聞かせてください。

大麻生中学校　吉際　里咲　議員

災害時のペットを連れての避難について

去年の台風19号で、私たちの住む熊谷市にも避難勧告が発令されました。すぐに避難することが大切だと分かっていましたが、ペットがいるためほかの人への迷惑を考え、ためらってしまいました。ペットを飼っている友達にも確認したところ、同じことを思っていたようです。

ペットを連れての避難については、市報への掲載はありましたが、ホームページには詳しく書かれていませんでした。そこで、ペット連れ専用の避難所や災害アプリがあれば良いのではと考えました。犬を飼うとき、市役所で鑑札をもらっていますが、その時に告知するなど、実際に災害が起こった時、ペットを連れて迷わず安全に避難できるような対策を取るのはいかがでしょうか。

中条中学校　江森　舞　議員

レジ袋の有料化に伴うエコバッグの普及について

今年7月に全国でレジ袋の有料化が始まりました。それに伴い、エコバッグの普及が高まってきています。私もエコバッグの利用をして、家族で買い物をしています。地球温暖化の対策としての重要な取組だと思っています。

私は、熊谷市民の皆さんに、熊谷市独自のエコバッグを使っていただくという取組を提案します。熊谷市では、レジ袋の有料化に伴うエコバッグの普及についてどのような取組をしていますか。

妻沼東中学校　渡辺　夢楓　議員

ごみの問題について

私は家族の手伝いで、ごみ出しをしています。そこで感じたのは、ごみの回収日が少ないことと、まち中にごみを出す場所が少ないことでした。特に燃えないごみの回収は4週に1度なので、忘れてしまったときは大変です。また、家庭から出るごみを集める場所が少なく、ごみが出ていたり、ごみを出すのに時間がかかってしまいます。

そこで、ごみの回収日や回収場所の見直しや、ごみを出す場所を増やすことを希望するのですが、熊谷市としてはこの問題をどのように捉え、どのような対策をされるのか考えを教えていただきたいです。

【答弁】 市長

加藤ひな美議員さん、吉際里咲議員さん、
江森舞議員さん、渡辺夢楓議員さんの質問に、
私から全般的にお答えします。

始めに、**加藤さんの「私たちにできる温暖化対策について」**ですが、CO2など温室効果ガスの排出量の増加により、地球温暖化が進行し、熊谷市でも平成30年に41.1℃の国内最高気温を記録したのは記憶に新しいと思います。このまま私たちが何も対策を取らなければ、異常気象による台風等の災害、農作物や生態系への影響など様々な分野での弊害がこれからも予想されます。

そこで熊谷市では「地球温暖化対策実行計画」を策定し、CO2削減のための具体的な対応策なども示しています。その中には皆さんが家庭や学校で実践できるものもありますので、ぜひ加藤さんも引き続きご協力をお願いします。

次に、**吉際さんの「災害時のペットを連れての避難について」**ですが、ペットブームといわれている今、多くの市民が、生活に癒やしを与えてくれる犬や猫などのペットを、家族の一員として大切に飼育しています。

昨年の台風19号の時には、犬や猫などのペットと一緒に、小・中学校等へ避難された方もいらっしゃいましたが、一緒に避難していいのか分からず、不安な気持ちで迷っていた方も多かったと思われます。この教訓から、ペットの避難について、改めて明確なルールを定めるとともに、市内全ての避難所にペット専用の避難スペースを確保し、ペットと一緒に避難できる体制を整えました。吉際さんも災害時には情報を集めて、落ち着いた行動で同行避難を行ってください。

次に、**江森さんの「レジ袋の有料化に伴う　エコバッグの普及について」**ですが、地球温暖化やマイクロプラスチックによる海洋汚染等が世界的にも大きな社会問題になっている今、江森さんが家族で実践してくれているように、エコバッグの利用は、身近なところから始められる問題解決に向けた、とても有効な手段です。そうした行動の一つ一つが、少しずつ積もって、大きな成果になります。

これからも、きれいな地球を守っていくためにも、私たちができる、レジ袋排出の削減やエコバッグの利用促進について、市報やホームページ、またイベントなどを通して、広く市民の皆さんに、お願いしていきます。

次に、**渡辺さんの「ごみの問題について」**ですが、渡辺さんは、朝、ごみ出しをしているとのことですが、登校前の忙しい時間帯に、とても立派なお手伝いだと思います。家庭からのごみの量を減らすことは、私たちの生活環境を守っていくためにも大変重要なことです。ごみの収集回数や集積所を増やせば、便利になりますが、ごみを出しやすい環境になると、ごみの量が増えることも考えられます。

このため、熊谷市が掲げている5R、つまり、不要なものの受取を拒否するリフューズ、ごみを減量するリデュース、再利用するリユース、修理して使用するリペア、再生利用するリサイクルを推進し、市民の皆さんに、ごみ出しのマナーや、ごみの減量化について訴えかけ、協力していただくことが大切だと考えています。

玉井中学校　加藤　ひな美　議員

【答弁】環境部長

加藤ひな美議員さんの「私たちにできる温暖化対策について」にお答えします。

熊谷市では「地球温暖化対策実行計画」の中で地球温暖化防止に向けた様々な取組を行っています。その一環として、皆さんにも6年生の時にキッズISOプログラムに取り組んでいただき、ありがとうございました。その成果として、1週間で約3トン、1日に皆さんの学校の一教室分のCO2削減効果がありました。この成果を皆さんに実感していただき、いかにして取組を継続していただくかが課題となっています。2015年にパリで開かれた会議で、温室効果ガスに関する国際的な取決めが合意され、日本は2030年度までに2013年度に比べて温室効果ガスを26パーセント削減する目標が定められました。このためには、熊谷市でも1日に2,263トン、東京ドームほぼ一杯分ものCO2を、毎日削減していかなければなりません。

温暖化対策には、市民一人ひとりの皆さんの協力が不可欠です。そのために目標や成果の見える化は、とても大事な手法であると思います。皆さんが、温暖化対策にもっと興味を持って取り組めるよう、「エコ検定」や「エコ時計」などもこれから検討したいと考えています。

大麻生中学校　吉際　里咲　議員

【答弁】環境部長

吉際里咲議員さんの「災害時のペットを連れての避難について」にお答えします。

昨年10月に発生した台風19号のときは、熊谷市でも、避難勧告、避難指示を発令し、多くの方が小・中学校などに避難しました。避難した方の中には、ペットを同行することについて、迷っていた方も多かったことから、全ての避難所の検証を行い、ペット専用の避難スペースを確保し、一定のルールはありますが、安心して同行避難できる受入体制を整えました。

ルールとしては、ペットと同行避難する際は、水、餌、薬、ケージ、リード、排泄物を処分するものなどを飼い主の責任で用意するほか、離れ離れになった場合に備え、鑑札や迷子札を付けておくことなどをお願いしています。

市では、災害時に迷うことなくペットと同行避難できるように、市報やホームページを始め、防災訓練や鑑札の交付の時などを通じて、広く市民にお知らせしていきますので、吉際さんも、避難勧告などが出た場合は、大切なペットと一緒に避難してください。

中条中学校　江森　舞　議員

【答弁】環境部長

江森舞議員さんの「レジ袋の有料化に伴うエコバッグの普及について」にお答えします。

これまで、熊谷市では、レジ袋の有料化とエコバッグの利用について、市報やホームページ等で、市民の皆さんにお知らせしているほか、レジ袋の排出削減や簡易包装等に取組む小売店を熊谷市認定エコショップとして認定し、カン、ビン、ペットボトル等のリサイクルにご協力いただいた方へ熊谷市オリジナルのエコバッグを配布したり、エコバッグを利用された方に、マイボトルを配布したりするキャンペーンを実施し、マイバッグの利用を促進してきました。

今年7月のレジ袋有料化後の1か月で、大手コンビニエンスストアのレジ袋辞退率が、有料化前の約3割から7割以上に跳ね上がったとの報道があったように、現在、多くの方がエコバッグを使用するようになってきました。また、エコバッグの衛生を保つためには、消毒や洗濯をしながら使用することが大切であるという考え方も広がってきました。

これからも、ごみを減らす方法の一つであるリフューズ、つまり、不要なものは受け取らない実践として、レジ袋ではなく、衛生面にも注意したエコバッグの利用を呼びかけていきます。

妻沼東中学校　渡辺　夢楓　議員

【答弁】環境部長

渡辺夢楓議員さんの「ごみの問題について」にお答えします。

市民の皆さんが集積所に排出した燃えるごみは、ごみ収集車により熊谷衛生センターや江南清掃センターに運ばれ、焼却されますが、CO2の排出など、環境に負荷がかかるとともに、その処理にも多額の費用がかかります。このため、ごみの量を減らすことが、熊谷市の重要な課題となっていて、熊谷市が掲げている5Rを推進することが大切と考えています。

なお、燃えないごみは、資源ごみとして、週に一度収集していますが、熊谷市認定エコショップの店頭でも、回収にご協力いただいていますので、そちらもご利用ください。

また、ごみの集積所は、収集車両が通行可能なことや、交通上の危険性が少ないこと、1か所の利用世帯が20世帯以上あることなどの要件を満たしている場所に、地域の皆さんによって設置、管理していただいていますので、もしも今の場所が、皆さんにとって不便な場合には、地域で話し合って、市役所にご相談ください。

質問番号 7
産業振興部関係

- 議席番号11　妻沼西中学校　小川　翔（おがわ　しょう）議員
- 議席番号9　別府中学校　栗田　かのん（くりた　かのん）議員
- 議席番号13　熊谷東中学校　多田　優樹（ただ　ゆうき）議員
- 議席番号15　熊谷東中学校　宮澤　由依（みやざわ　ゆい）　議員

妻沼西中学校　小川　翔　議員

新型コロナウイルスによる産業への影響への支援

今回の、新型コロナウイルスによる影響は、毎日のようにニュースで見ます。特に、自粛による産業への影響が心配です。熊谷市として、影響を受けた産業への支援は何かしていますか。また、これからする支援等があれば教えてください。

別府中学校　栗田　かのん　議員

熊谷染体験について

私たちは小学生の頃、小川和紙づくり体験をしたことがありますが、ジュニア議会の事前学習で、熊谷にも、伝統工芸である熊谷染めがあることを知りました。

20年以上前は、熊谷の小学校でも、体験学習で藍染め体験を行っていたという話を、先生から聞いたことがあります。

地元にある伝統工芸を学ぶためにも、ぜひ、熊谷染めの体験学習を推進してみるのはいかがでしょうか。学校単位での体験学習のほかに、様々な形態で、多くの市民が楽しめる工夫があると良いと思います。

熊谷東中学校　多田　優樹　議員

「道の駅くまがや」内のトイレ設備について

建設予定の「道の駅くまがや」は広さが7ヘクタールと広大ですが、トイレの数が少ないように思えます。特に多目的トイレは3つしかありません。たくさんの来客が予想され、これから更に高齢化が進み、また新型コロナウイルスに代わる新たなウイルスが発生するか分からない状況において、トイレ設備を充実させることはとても大切だと考えますのでぜひ、トイレ設備を充実させてほしいです。また、この広い敷地内に大きく数か所に設置するのではなく、細かく設置することで、トイレを利用したいときすぐに見つけて利用できるようになると思います。

そこで、トイレの設置数をどう決めたのか、今後どう配置する予定なのかを教えてください。

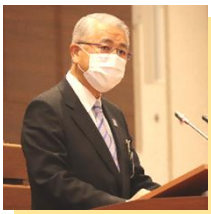
熊谷東中学校　宮澤　由依　議員

「道の駅くまがや」周辺の交通について

現在計画中の「道の駅くまがや」についてですが、一部は24時間利用可能な施設のため、周辺道路の交通量増加が予想されます。

「道の駅くまがや」は熊谷東中学校の学区内にできる施設となります。東中生や地域の安全のために、交通事故防止対策をお願いしたいです。例えば、大きなカーブミラーや注意喚起のためのLED表示板の設置等、ご検討いただけないでしょうか。

【答弁】市長



小川翔議員さん、栗田かのん議員さん、多田優樹議員さん、宮澤由依議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、**小川さんの「新型コロナウイルスによる産業への影響への支援」**ですが、3月末の外出自粛要請や4月の緊急事態宣言により、国内の経済活動は一気に縮小し、市内経済にも大きな影響を及ぼしました。小川さんも、楽しみにしていた学校行事の中止が相次ぎ、残念に思われたことと思います。

市内では、特に小規模事業者の方から、売上げの減少により、事業を継続できなくなるとの声をお伺いしました。そこで、厳しい状況にある市内の事業者を応援するため、国の支援策である「持続化給付金」や「特別定額給付金」、県の支援策である「埼玉県中小企業・個人事業主支援金」に加え、市独自の支援策として、「STOPコロナ」小規模事業者緊急支援金を交付することとし、5月11日から受付を開始しました。また、9月1日からは、市内の消費拡大を目的に、発行総額が過去最高の26億円となる「STOPコロナ」地域応援プレミアム付商品券の販売を開始しました。

残念ながら、現在も新型コロナウイルスの感染への心配は消えていません。引き続き、市民の皆様とともに、新しい生活様式への対応をしっかりと進め、感染症対策と合わせた経済活動の支援を行っていきます。

次に、**栗田さんの「熊谷染体験について」**ですが、熊谷染は、地域の歴史、文化、自然を生かし、優れた職人の技により継承されてきた本市の貴重な伝統工芸の一つです。現在、「熊谷染継承の会」の皆様によって、熊谷スポーツ・文化村「くまぴあ」で体験教室が開催されており、栗田さんの提案のとおり、多様な方法を工夫しながら、若い世代の方にも技術を体験してもらい、その魅力を広く発信していきたいと思います。

次に、**仮称「道の駅くまがや」について、多田さん、宮澤さんから**質問を頂きました。熊谷市の東部、国道17号バイパスと国道125号に面した、とても便利な場所に大規模な道の駅を設置する予定です。通過する自動車は、国道17号バイパスが1日約3万4千台、国道125号が1日約2万1千台もあり、道の駅ができれば、多くの方が立ち寄ってくれるものと期待しています。

夏休みには、小中高校生の夢を絵にした、道の駅の「未来予想図」を募集し、524点もの力作をご応募いただきました。お二人の意見のとおり、快適性、安心・安全の確保は、とても大切な視点です。アクセスしやすいトイレの設置や周辺地域の安全な交通環境に十分に気を付けながら、皆さんが描いてくれた未来予想図のように、多くの人が集まる、楽しい道の駅を計画していきます。

妻沼西中学校　小川　翔　議員

【答弁】副市長

小川翔議員さんの「新型コロナウイルスによる産業への影響への支援」にお答えします。

新型コロナウイルス感染症の影響は、市民の方々にとって、日々の暮らしの様々な活動に大きな影響を及ぼしています。特に、緊急事態宣言が出されてからは、宿泊や飲食といった商業・サービス事業者は、売上げの減少により、事業の継続が厳しい状況となっています。

そこで、資金の貸付制度を拡大したほか、売上が5パーセント以上減少した、市内の小規模事業者に対し、事業と雇用を守るため、「STOPコロナ」小規模事業者緊急支援事業として、1件10万円を支援しました。

また、9月からは、額面金額が1万3千円分の商品券を1万円で購入できる、30パーセントのプレミアム付商品券の販売を開始しました。発行総額26億円もの商品券発行は、熊谷市でも初めての取組であり、感染予防に努めた上で、市内のお買物を楽しんでいただくことが、熊谷市の活力を保つことにつながります。

今後も、新型コロナウイルス感染拡大をしっかりと抑え込み、ご家族の健康とまちの元気を維持していけるよう、積極的に取り組んでいきます。

別府中学校　栗田　かのん　議員

【答弁】産業振興部長

栗田かのん議員さんの「熊谷染体験について」にお答えします。

熊谷染は、埼玉県の伝統的手工芸品に指定されており、平成27年からは、熊谷染の振興や後継者の育成を行うため、熊谷スポーツ・文化村「くまぴあ」内の熊谷伝統産業継承室において、一般の方を対象に熊谷染継承の会が「熊谷染体験教室」を実施しています。ひと月に10日間、体験ができますので、栗田さんも、ぜひ一度、体験してみてください。

ご質問の、学校単位の体験学習ですが、開設日の調整や参加呼びかけ、体験教室の運営方法など、事業の実施に向けては困難な課題もありますが、体験を通じて、熊谷染の持つ素晴らしさをお伝えする方法について、熊谷染継承の会と研究していきます。

また、熊谷染の持つ、緻密な技としゃれたデザインをより多くの皆様に知っていただけるよう、熊谷ならではの新たな商品開発を手掛けている「熊谷市観光協会」と連携し、魅力の発信に努めていきます。

熊谷東中学校　多田　優樹　議員

【答弁】産業振興部長

多田優樹議員さんの「「道の駅くまがや」内のトイレ設備について」にお答えします。

「道の駅くまがや」では、トイレを2か所設置する予定です。1か所は、24時間使用できる道路利用者のためのトイレ。もう1か所は、飲食施設の利用者用のトイレです。

道の駅が面する2本の国道には、1日約5万5千台もの自動車が走っており、その約1割にあたる約6千台が、道の駅に立ち寄ると見込んでいます。この利用台数を基準にし、施設利用者ごとにトイレの設置数を計算しています。道路利用者用のトイレの数は、高速道路のサービスエリアを設計する際の基準で計算し、駐車場に近い場所に設置します。一方、飲食施設利用者用は、ショッピングセンターのような商業施設を設計する際の基準で計算し、飲食施設の近くに設置します。また、多目的トイレは、国や県の基準に従い、必要数を設置します。

多田さんのご意見のとおり、トイレ設備の充実は、お客様をお迎えする「おもてなし」の基本です。快適な施設となるよう、トイレの数や場所、案内看板の設置などを検討していきます。

熊谷東中学校　宮澤　由依　議員

【答弁】産業振興部長

宮澤由依議員さんの「「道の駅くまがや」周辺の交通について」にお答えします。

道の駅には、ドライバーのトイレなど、休憩施設のほか、市民の方にもご利用いただく市内農産物の直売所や室内で遊べる子育て支援施設の設置を予定しています。結果として、宮澤さんのご意見のとおり、周辺道路の交通量が増えることが予想されています。周辺には、熊谷東中学校の通学路もあり、地域の皆さんが安心し、安全に生活できる環境づくりは、とても重要な課題です。

現在、この課題に対応するため、道の駅へアクセスする新たな歩道付きの道路を計画しています。これにより周辺の生活道路を経由せずに、道の駅へ行くことができるほか、周辺地域の交通量が分散され、安全性が高まると考えています。

また、カーブミラーや注意看板の設置等についても、交通安全対策を所管する警察や道路管理者と十分な調整を行っていきたいと思います。

質問番号 8
都市計画部 建設部 関係

- 議席番号17　大里中学校　杉山　美月（すぎやま　みづき）議員
- 議席番号19　大里中学校　石倉　優輝（いしくら　ゆうき）議員
- 議席番号22　荒川中学校　武田　葵（たけだ　あおい）議員

大里中学校　杉山　美月　議員

自転車の走行通路について

熊谷市では多くの中学生が自転車で通学しています。左側通行を守らない人もいて、お互いぶつかりそうになり大変危険だと感じます。自転車は車道を走ることが原則ですが、自転車で車道を走行するとき、車とすれ違う距離が近く、危険だと感じます。歩行者や自転車通学者の安全を守るために、車道の両側に歩道をつくり、自転車専用通行帯を作ることを提案いたします。

そこで質問ですが、市の自転車専用通行帯の現在の整備状況と今後の整備の予定について教えていただきたいと思います。

大里中学校　石倉　優輝　議員

道路の整備について

僕の学校の近くにも昨年開催されたラグビーワールドカップに際して、新たな道路が設けられました。そのほかにもガタガタだった道路を舗装していただいたりと僕たちの通学においての安全が確保されていくのを感じてとてもうれしく思っています。しかし、その一方で道幅が狭く危険だと感じる道路を見かけることがしばしばあります。

そこで質問なのですが、熊谷市での道路を整備するのは何を基準にして行われるのでしょうか。

荒川中学校　武田　葵　議員

通学路の安全確保について

私は石原小学校に通学していました。秩父街道をまっすぐ行くと早いのですが、車道の幅も狭く、歩道も白線が引いてあるだけで、ガードレールが全てにあるわけではなく、危険な思いをしたのは私だけではないと思います。要所に交通指導員の方やPTAの方が立ってくださっているおかげで、私は事故に巻き込まれることもなく卒業することができましたが、今の小学生も同様な思いをしているのではないかと考えると、心配になることがあります。ぜひ、ガードレールの設置などを検討していただきたいと思います。また、通学路の安全確保について取り組んでいることがあれば教えてください。

【答弁】 市長

杉山美月議員さん、石倉優輝議員さん、
武田葵議員さんの質問に、
私から全般的にお答えします。

始めに、**杉山さんの「自転車の走行通路について」**にお答えします。市民の皆さんにとって自転車は、買い物や通勤、通学など、手軽な移動手段として欠かせないものとなっています。また、近年の健康ブームや環境意識の高まりなどを背景に、自転車の利用ニーズが更に高まっています。

こうした状況を踏まえ、自転車の交通環境を改善するため、令和3年度に自転車ネットワーク計画を含む熊谷市自転車活用推進計画を策定し、自転車通行空間の計画的な整備を進めていきたいと考えています。

次に、**石倉さんの「道路の整備について」**にお答えします。熊谷市で整備する道路は、その目的によって主に幹線道路と生活道路とに分けられ、どちらも整備効果の高い路線から計画的に整備しています。

幹線道路とは、地域の主要な地点を結び、道路網の骨格を形成する規模の大きな道路で熊谷市が計画し整備しています。一方、生活道路とは、主に地域の皆さんが日常生活で利用する比較的小規模な道路のことで、地域の自治会等から要望があった路線を整備しています。

次に、**武田さんの「通学路の安全確保について」**にお答えします。熊谷市では、通学路の安全を図るため、学校や地域の意見・要望を踏まえ警察と連携しながら、グリーンベルトの設置や、フェンス、舗装の修繕なども行っています。また、市街地では生活道路が密集する区域で、車の最高速度を30キロメートルに規制するゾーン30の整備を行い、歩行者等の安全な通行を確保する対策などにも取り組んでいます。

これからも、皆さんが安心して通学できる道路環境を整備していきますので、皆さんも交通事故に遭わないよう交通ルールをしっかり守ってくださるようお願いします。

大里中学校　杉山　美月　議員

【答弁】都市整備部長

杉山美月議員さんの「自転車の走行通路について」にお答えします。

自転車の走行通路の整備は、交通量の多い熊谷駅周辺から順番に進めてきており、現在、国道17号や県道太田熊谷線、市役所通線など、約10キロメートルの整備が終わっています。整備の方法は、自転車道、歩道、車道をガードレール等の構造物で分離する方法や、スペースがない道路では、歩道や車道の端に自転車の走行位置を表示する方法などがあり、道路幅や交通量に応じて決定しています。

これからも、安全・安心に走行できる自転車通行空間の整備を進め、そのネットワークを広げていきます。また、自転車を利用する方の安全意識やマナーの向上に取組、交通事故防止も図っていきたいと考えています。

大里中学校　石倉　優輝　議員

【答弁】建設部長

石倉優輝議員さんの「道路の整備について」にお答えします。

熊谷市の幹線道路の整備は、市の都市計画、道路計画等に基づき、計画的に行っており、昨年開催されたラグビーワールドカップ2019日本大会の際には、都市計画道路の玉井東通線や第2北大通線などを整備しました。また、生活道路については、地元自治会等からの整備要望を受け、これを「熊谷市道路事業評価システム」によって公平に評価し、必要性や整備効果の高い路線から順次整備を進めています。

狭い道路を広げるためには、道路沿線の土地所有者から大切な土地を提供していただく必要がありますので、事業にご理解、ご協力を頂きながら、安全に生活できるための道路の整備を進めています。

荒川中学校　武田　葵　議員

【答弁】建設部長

武田葵議員さんの「通学路の安全確保について」にお答えします。

ガードレールを設置して車道と歩道を分離するためには、車椅子利用者などの通行に考慮した歩道幅を確保する必要があります。

ご質問の秩父街道は、自動車の交通量が非常に多い道路ですが、車道と歩道を分離するための道路幅が確保できないため、歩行者等の安全対策として、薄くなった白線や速度を抑制する路面標示等の点検や引き直しを行っていきたいと考えています。

次に、通学路の安全確保についてですが、現在、市内の各小学校からおおむね半径1キロメートルの指定通学路について、グリーンベルト等の路面標示や水路への転落を防止するフェンス等の設置など、計画的な安全対策を行っています。

質問番号 9
教育委員会関係

- 議席番号24　江南中学校　石嶋　禮逢七（いしじま　らあな）議員
- 議席番号26　大原中学校　阿久津　なつの（あくつ　なつの）議員
- 議席番号28　三尻中学校　白子　輝（しらこ　あきら）議員
- 議席番号30　大幡中学校　磯部　真慶（いそべ　まさよし）議員
- 議席番号32　富士見中学校　松浦　誓也（まつうら　せいや）議員

江南中学校　石嶋　禮逢七　議員

体育館へのエアコン設置について

私の学校の体育館には、エアコンがついていません。それは、どの学校でも同じだと思いますが、休日は、たくさんの選手や保護者、コーチなどが集まり、試合をします。夏場は暑くなりすぎて、熱中症になったり、自分の本来の力を出し切れなかったりする人もいます。窓を開けたり、うちわであおぐなど対策は講じていますが、バドミントンや卓球など風の影響が大きいスポーツは窓を開けたりうちわであおいだりすることができず、より熱中症になる危険性が高まります。

そこで、学校の体育館にエアコンの設置、もしくは空気循環システムの導入をしてはいかがでしょうか。

大原中学校　阿久津　なつの　議員

小中学生の交流について

私の出身校である石原小と大原中はとても近くにあります。そのため、大原中の合唱部が石原小で合唱を披露したり、石原小の6年生が大原中の音楽会を見学したりといった交流があります。6年生のときに中学校を訪問できたことは「もうすぐ中学生になるんだ。」という進学に向けての気持ちの準備ができます。

そこで、小中学生が一緒に給食を食べたり、勉強を教えたりといった交流の場を作ることを提案します。小学生にとっては、中学生の姿を見て将来の自分の姿を想像ができ、中学生にとっては、自分が学んでいる姿を見せることによってモチベーションがアップしたり、何かを教えることで「学び」や「気づき」を得ることができたりすると考えます。

三尻中学校　白子　輝　議員

オンライン授業の実施について

私は、学校でのオンライン授業の実施について提案させていただきます。

現在、新型コロナウイルスが猛威を振るい続けています。私たちも長期間にわたり、臨時休校を余儀なくされました。臨時休校中は、学校からの課題に一生懸命取組ました。また、「WEB版くまなびスクール」を活用して多彩な授業に触れることができ、改めて学ぶ楽しさを実感しました。それでも、学校が再開したときに授業についていけるのか少し不安を感じていました。最近では、ウェブ会議ツールなどが流行しています。この機能を、学校の授業にも生かすことができないかなと考えました。

熊谷市では、オンライン授業についてどのような検討がなされているのか、教えてください。

大幡中学校　磯部　真慶　議員

授業の遅れを取り戻す対策

新型コロナウイルスが世界的に流行しています。その影響で、熊谷市全学校も3か月ほど休校となり、授業が遅れてしまいました。学校が再開した今、土曜授業や7時間授業などを行い、どの学校も授業の遅れを取り戻そうとしています。授業の遅れを取り戻す取組は、私たちだけでなく、先生方も大変なことが多いはずです。

新型コロナウイルスの第二波、第三波が心配される中、再び休校になってしまった時に使える学習用タブレット端末などの普及はどのようにお考えでしょうか。また、WEB版くまなびスクールの更なる改善はお考えでしょうか。

富士見中学校　松浦　誓也　議員

熊谷直実について

来年、深谷市の渋沢栄一を主人公とした大河ドラマが放送されます。大河ドラマがあるということは、たくさんの来訪者が来ることが考えられます。熊谷市にも来訪者の増加があると思います。そこで、熊谷市の経済を活性化できないかと考え、熊谷直実が思いつきました。

内容としては、熊谷直実を題材とした観光ルートを作成するのはどうでしょうか。私は熊谷直実がどのような活躍をしたのか、どんな人だったのかということを歴史の授業で学びました。ぜひ、熊谷直実のことを各地方から来る人に知ってもらいたいと思います。このことについて熊谷市では、何か考えていますか。

【答弁】 市長

石嶋禮逢七議員さん、阿久津なつの議員さん、
白子輝議員さん、磯部真慶議員さん、
松浦誓也議員さんの質問に、
私から全般的にお答えします。

始めに、**石嶋さんの「体育館へのエアコン設置について」**ですが、小・中学校のエアコンは、児童・生徒の皆さんを熱中症等の危険から守り、快適な環境で学習に取り組めるよう、普通教室等に設置しています。熊谷市では、限られた財源の中で、安全性や快適性などの観点から、学習環境の整備に順次取組、現在は、トイレの改修と校舎の老朽化対策を優先的に進めていますので、体育館にエアコンなどを設置するのは、すぐには難しいことですが、良い方法を考えていきたいと思います。これからも、熱中症や新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら、スポーツに取り組んでいただきたいと思います。

次に、**阿久津さんの「小中学生の交流について」**ですが、阿久津さんの通う大原中学校を始め、多くの小中学校間において、交流が行われています。小中学校間の交流は、小学生にとっても、中学生にとっても大変意義のある活動であり、引き続き、各学校の実態に合わせた取組を進めてほしいと考えています。

次に、**白子さんの「オンライン授業の実施」**についてと**磯部さんの「授業の遅れを取り戻す対策」**についてお答えします。令和2年3月から新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、学校が長期休業という前代未聞の緊急事態となりました。そのため、皆さんは3か月に及び家で過ごすこととなりましたが、学校から配付された学習プリントや、WEB版「くまなびスクール」を活用し、自宅学習を積み重ねて頑張ってくれたとのこと、大変うれしく思っています。

こういった緊急事態に、今後見舞われた場合、これまで同様の学びを保障するためには、一刻も早く学校のICT環境を整える必要があります。そのため、現在導入している大型提示装置、指導者用コンピューター、実物投影機、デジタル教科書などに加え、インターネット環境の整備と児童生徒一人一台の端末の整備に向け、準備を進めています。熊谷市としては、皆さんと先生、皆さん同士が向かい合い、ノートや黒板を使った授業を基本にしながら、ICT機器を活用した授業を行うことによって、皆さんの学力を更に高めていきたいと考えています。

次に**松浦さんの「熊谷直実について」**ですが、松浦さんもご存じのとおり、熊谷直実は、平安時代末期から鎌倉時代にかけて活躍した武将であり、晩年は蓮生として仏の道を歩んだ、熊谷を代表する歴史的人物です。また、歌舞伎や能、多くの文学作品などにも描かれ、広く人々に知られた存在です。市内には、直実に関連する史跡や伝説が多く残されていますし、熊谷駅前には馬にまたがった直実の銅像があり、熊谷市において、指折りの偉人となっています。熊谷市としては、直実ゆかりの史跡などを活用し、直実の歴史や郷土の誇りを、来訪される多くの方々に知っていただく意義は、大きいと考えています。

江南中学校　石嶋　禮逢七　議員

【答弁】教育長

石嶋禮逢七議員さんの「体育館へのエアコン設置について」にお答えします。

現在、熊谷市では、トイレを洋式化して皆さんが快適に使えるようにするための工事や、古くなった校舎の大規模な改修工事に計画的に取り組んでいます。そのため、体育館のエアコン整備についてまでは、具体的な予定はありませんが、空気循環システムなどの効率的な空調の方法について、今後、先進的な事例を研究するなど、していきたいと考えています。

皆さんが、体育館を利用する際は、新型コロナウイルス感染症予防の観点からも、適宜、窓を開けて換気に努め、体調管理に十分注意しながらスポーツに励んでください。

大原中学校　阿久津　なつの　議員

【答弁】教育長

阿久津なつの議員さんの「小中学生の交流について」にお答えします。

熊谷市では、阿久津さんの通う大原中学校と石原小学校のように、多くの小中学校間で、交流しています。例えば、中学生が小学校を訪れ、合唱指導、陸上指導、補充学習の支援を行ったり、小学生が中学校を訪れ、「部活動体験」、「音楽会などの学校行事の見学」を行ったりしています。また、挨拶運動を通して小中の交流を行っている学校もあります。

阿久津さんの提案のとおり、小中学校間の交流は、小学生にとっては、中学校生活をイメージできる良い機会であり、中学生にとっては、小学生に手本を示すことによってモチベーションが高まる機会となりますね。両校のきずなもますます強まり、大変意義深いものと考えます。

三尻中学校　白子　輝　議員

【答弁】教育長

白子輝議員さんの「オンライン授業の実施について」にお答えします。

教育委員会では現在、児童生徒一人一台の端末と市内全ての小中学校にインターネット環境を整える準備を進めています。

インターネット環境の整備により、WEB会議ツールも使用できるようになります。
WEB会議ツールを活用すると、離れたところにいる先生や生徒どうしがオンラインでつながり、オンライン授業ができるようになります。

将来的には、ほかの学校の生徒とも学習できるようになります。

このようなオンライン授業により、熊谷の小中学生の皆さんには、知・徳・体の学力日本一を目指していただきたいと考えます。

大幡中学校　磯部　真慶　議員　　【答弁】教育長

磯部真慶議員さんの「授業の遅れを取り戻す対策について」にお答えします。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校の臨時休業により、皆さんが家庭でも学習を進めることができるように、熊谷市の先生方と教育委員会が協力して、WEB版「くまなびスクール」を開設しました。このWEB版「くまなびスクール」は、現在、約1000本あり、皆さんが家庭で予習や復習ができる内容です。これを更に増やしていきます。

なお、現在導入している大型提示装置、指導者用コンピューター、実物投影機、デジタル教科書などに加え、今年度中に導入予定の一人一台の端末を学校の授業で活用していきます。今後、心配される感染症による臨時休業の際も、家庭でこの端末を用いた学習ができるよう準備していきます。

富士見中学校　松浦　誓也　議員　　【答弁】教育長

松浦誓也議員さんの「熊谷直実について」にお答えします。

市内には、熊谷直実に関連した史跡、神社やお寺などが多く残されています。直実が開いた熊谷寺、直実の父直貞が、熊退治したことが伝わる千形神社や熊野堂跡、直実の娘玉津留姫が開いたとされる報恩寺、直実の愛馬であった権田栗毛が終わりを迎えた場所の伝説が残る箱田の円光塚と三本の駒形明神社など、直実の歴史を今に伝えている場所が多くあります。

このような直実にゆかりのある文化遺産は、熊谷市の歴史を知る上でも、貴重で価値があります。そのため、これまでもそれぞれの場所が散策できるよう、インターネット上の博物館「熊谷デジタルミュージアム」に掲載し、紹介しています。

熊谷直実のことを、市内の人はもちろん、市外から訪れる多くの人にも知っていただくことは大変有意義なことであり、熊谷の観光の進展にもつながると考えています。これからも、スマートフォンやタブレット向けのアプリ「くまここ」などを活用し、直実の歴史を楽しく学びながら周遊できることを目指し観光ルートを作成するなど、更にPRを進め、積極的に情報発信していきたいと考えます。

松浦さんも、ぜひ日頃から気にして、見てみてください。

５　ジュニア議員の感想　　～ジュニア議会を終えて～

◆議会の仕組みについて、理解は深まりましたか。

- 全てを議長が仕切り、議長の許可がないと発言や答弁ができないということに驚きました。
- 議長の質問に「異議なし」と言うことや、発言を許可されてから質問をするなど、実際に議会を経験してみないと分からないことをたくさん知ることができました。
- 私たちが生活している中で当たり前に思っていることの多くは、議員の方々が話し合い、議会によって決められたことなのだと思いました。
- ホールのような簡易的な所で行っていると思っていたけれど、防音素材の壁やきちんとしたカーペットなど、議会に集中して臨めるような施設整備がされていてすごいと思いました。

◆質問に対する答弁で印象に残っている部分はありますか。

- 一つ一つの質問の回答が丁寧で、私たちに分かりやすいように配慮してくださりながら答えていただいたのが印象に残りました。
- 市長や部長等が答弁をしてくださり、専門分野の皆さんから意見を聴けたので市政への関心が深まりました。
- 市長さんが全体的な答弁をして、その後に部長さん方が具体的に説明して、疑問が残らないようにしていたことが印象的でした。
- 「これからもさらにPRしていきます」と言ったくださったときは、自分の意見を認めてもらえた気がしてうれしかったです。

◆質問を考えるに当たって工夫した点を教えてください。

- 日常で困ったことや疑問を抱いたこと、熊谷市の特徴や魅力などを考え質問を選びました。
- ほかの人に何を伝えたいのか分かりやすいように、質問の内容を工夫しました。
- 人が集まる熊谷駅付近だけを注視するのではなく、大里や妻沼などにも目を向け、その地域ならではの良い点や課題、改善点などを明確にしながら、未来の熊谷につながることを考えました。
- 現状と起きている問題点を考え、解決策などの提案や質問を書きました。
- 自分自身の行動を振り返りながら、これは自分だけでなく、ほかの人も困っていること、不思議に思っていることではないかということを考えました。

◆夢・未来ジュニア議会を体験して感じたことを教えてください。

- 発言することの大切さを学び、改めて熊谷を見つめ直すことができました。
- 多くの人の前で意見を発表することに責任を感じ、良い経験になったので、今後に生かしていきたいです。
- 事前学習の動画は、デジタル化ができていて良いなと思いましたが、まだ少し紙が多いと感じたので、もっとデジタル化を進めることでさらに良くなるのではないかと思いました。
- ほかの議員の意見も聞き、熊谷市の知らなかった取組や課題を知ることができ、人によって考え方は様々なことが分かりました。

6　参考資料（ジュニア議員座席表）

第１５回夢・未来熊谷ジュニア議会 座席表

広報広聴課長	広報広聴課							議会事務局			
産業振興部長	環境部長	福祉部長	危機管理監		議長		議会事務局長	議会事務局副局長	議会事務局	監査委員事務局長	農業委員会事務局長
市民部長	総務部長	総合政策部長	市長公室長					消防長	上下水道部長	会計管理者	選挙管理委員会事務局長
	副市長	市長			演壇			教育長	教育次長	都市整備部長	建設部長

8 わたなべ ゆめか 渡辺 夢楓 (妻沼東中)	7 いしい ひろき 石井 浩樹 (中条中)	6 えもり まい 江森 舞 (中条中)	5 にしざわ こはる 西澤 こはる (吉岡中)					4 よしぎわ りさ 吉際 里咲 (大麻生中)	3 おかむら はるき 岡村 悠希 (荒川中)	2 かとう ひなみ 加藤 ひな美 (玉井中)	1 すずき ゆうた 鈴木 悠太 (玉井中)
20 くぼた まひろ 久保田 真紘 (三尻中)	19 いしくら ゆうき 石倉 優輝 (大里中)	18 としま かほ 戸嶋 花歩 (大幡中)	17 すぎやま みづき 杉山 美月 (大里中)	16 おおさわ じゅんたい 大澤 純大 (奈良中)	15 みやざわ ゆい 宮澤 由依 (熊谷東中)	14 にいぼり たける 新堀 剛琉 (別府中)	13 ただ ゆうき 多田 優樹 (熊谷東中)	12 うちだ みそら 内田 美空 (妻沼西中)	11 おがわ しょう 小川 翔 (妻沼西中)	10 あべ けいせい 安部 慧星 (吉岡中)	9 くりた かのん 栗田かのん (別府中)
32 まつうら せいや 松浦 誓也 (富士見中)	31 ふじの れん 藤野 蓮 (江南中)	30 いそべ まさよし 磯部 真慶 (大幡中)	29 まつい こたろう 松井 琥太郎 (大麻生中)	28 しらこ あきら 白子 輝 (三尻中)	27 さかもと そうご 坂本 壮吾 (大原中)	26 あくつ なつの 阿久津 なつの (大原中)	25 まつざき りさ 松崎 里沙 (奈良中)	24 いしじま らあな 石嶋 禮逢七 (江南中)	23 ばば かほ 馬場 佳帆 (富士見中)	22 たけだ あおい 武田 葵 (荒川中)	21 すずき ようすけ 鈴木 陽介 (妻沼東中)

ミキサー室　　傍聴席

7　参考資料（答弁のための出席者）

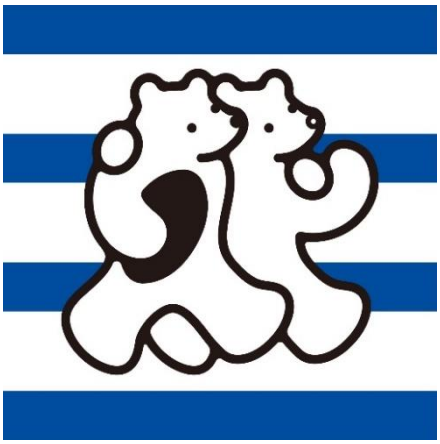
市　長	富岡　清
副市長	長谷川　泉
市長公室長	島村　英昭
危機管理監	上山　武
総合政策部長	山崎　実
総務部長	栗原　隆行
市民部長	小林　教子
福祉部長	鯨井　敏朗
環境部長	高橋　近男
産業振興部長	松岡　八起
都市整備部長	荻野　秀夫
建設部長	増田　啓良
消防長	橋本　政佳
上下水道部長	渡邉　功
会計管理者	本多　俊
教育長	野原　晃
教育次長	田島　斉
選挙管理委員会事務局長	向井　徹
監査委員事務局長	石井　茂
農業委員会事務局長	堀越　奈緒美
議会事務局長	清水　輝義

市の花・さくら

市の木・けやき

市の鳥・ひばり

市の魚・ムサシトミヨ



スクマム!クマガヤ

ラグビーのスクラムとクマガヤを掛け合わせた「スクマム！クマガヤ」は、ラグビータウン熊谷の新たなスローガンとしてラグビーワールドカップ日本大会が開催された2019年に誕生しました。出会った人とスクラムを組むことが大好きなシロクマの双子の兄弟。鼻が黒いほうがスク、白いほうがマム。肩を組んで前に進むことや、人と人とのつながりを大切にするという精神から、現在では、市内を中心に活用され、まちを盛り上げています。

第15回　夢・未来熊谷ジュニア議会　会議録

発行　熊谷市市長公室広報広聴課

〒360-8601　熊谷市宮町2-47-1　TEL　048-524-1111（代表）